

申請書記入（例）

令和 8 年 月 日

公益財団法人車両競技公益資金記念財団

提出日を記入

理事長 殿

記入例は「保育所」になっていますが、
障害者支援施設及び更生保護施設も同様の
要領で作成してください。

ふりがな しやかいふくしきょうぎかいこどもほいくじぎょうかい
法人の名称 社会福祉法人こどもほいく福祉
事業会
代表者役職 理事長
ふりがな ほ ん ご う た ろ う
代表者氏名 本 郷 太 郎 印

法人の登録印

助成事業実施計画申請書

令和8年度社会福祉施設等の整備に対する助成事業について、事業計画を策定したので、助成要
項第7の規定に基づき、下記のとおり助成金を申請します。

正式に決定していない場合
は予定でかまわない。

記

1. 助成事業実施予定期間

令和 8 年 10 月 1 日 ～ 令和 8 年 3 月 31 日

2. 法人の概要

法人の所在地	住 所	〒 113 — 0033 東京都文京区本郷3-22-5 住友不動産本郷ビル8階		
	電 話 番 号	03-5844-3070	FAX	03-5844-3055
	E-mail	kouekijigyo@vecof.or.jp	URL	https://vecof.or.jp
担当者連絡先	ふりがな	ほ ん ご う ふ み こ	役職名	庶務係長
	氏 名	本 郷 文 子	所属部課名	庶務課
	電話番号	03-5844-3070	FAX	03-5844-3055
	E-mail	hongou@vecof.or.jp	携帯電話	090-****-****

3. 助成事業名及び申請助成金額

[事業費総額（助成対象経費）×助成率2／3以内＝助成金申請額（上限400万円）]

助成事業名	令和8年度保育所等の補修改善事業							
本補補改善事業に要する事業費総額	5	3	1	5	7	3	9	円
申請助成金額	3	5	4	0	0	0	0	円 ※万円単位で切り捨て
自己負担金額	1	7	7	5	7	3	9	円

4. 事業計画

(1) 助成事業対象施設の概要

施設名称		むさしの調布こども園				従業員数		15名
施設種類		こども園（幼保連携型）			定員	140名	実員	155名
施設所在地	住所	〒 184 — 9999 東京都府中市調布ヶ丘01-02-3						
	電話番号	04*-5*6-0000			FAX	04*-5*6-000*		
	メールアドレス	hongoukodomom@vecof.or.jp		ホームページURL		https://www.aaa.bbb.ne.jp		
建物等の概要	敷地面積	1,235 m ²			延床面積	877 m ²		
	構造	鉄筋コンクリート造				階数	2	階建
	建築時期	昭和 40 年 3 月 31 日						
	建築確認通知	昭和 39 年 10 月 10 日 第				1234	号	
	検査済証	昭和 40 年 2 月 1 日 第				4321	号	

(2) 補修改善工事の設計監理

補修改善工事設計監理	設計監理者氏名	建 築 設 男		建築士番号	第◆◆◆◆号	
	(会社名)	武蔵野建築設計事務所		登録番号	〇〇県知事登録第△△号	
	住 所	〒 123 — 4567 武蔵野市武蔵野町 1－2－3				
	電 話 番 号	04** -1234-9876		FAX	04** -1234-9870	
	メールアドレス	mailaddress@domain.ne.jp	ホームページURL		https://www.*****.ne.jp	

(3) 自己負担金（資金）の内訳

資金名目	金額	摘要
現金預金	275,739 円	父母OB会寄附金含む
修繕費積立金	1,500,000 円	
	円	
計	1,775,739 円	

(4) 本助成対象事業に係わる本財団以外からの助成金・補助金・寄付金・借入金等がある場合は、下表に団体・機関名等とその金額を記入してください。

団体・機関等の名称	金額	種類
父母OB会	250,000 円	寄附金
	円	
	円	
計	250,000 円	

(5) 助成金・補助金を受けた実績（今回の補修改善対象となる施設）には年度を赤太にしてください。

年度	助成団体・機関名	施設名	施設の種類	助成金額	事業費総額	助成対象
昭57	東京都共同募金会	本郷こども園	保育所	1, 297, 000	15, 400, 000	外壁修繕・塗装
平10	国・都	むさしの調布こども園	保育所	18, 785, 000	251, 890, 000	床張替、防水、空調入替え
平15	国、都、市	武蔵野こども園	保育所	29, 817, 000	360, 990, 000	子育て支援せインター新築工事
平19	〇〇財団法人	本郷こども園	保育所	6, 970, 000	9, 290, 000	送迎バス 2 台
			計	56, 869, 000円	637, 570, 000円	

(6) 本財団から受けた助成金の実績

年度	施設名	施設の種類	助成金確定額	確定事業費総額	助成対象
平23	むさしの調布こども園	保育所	4, 000, 000	8, 230, 000円	外壁塗装、屋根防水工事
		計	4, 000, 000円	8, 230, 000円	

(7)補修改善内容、補修改善の目的と期待効果

① 補修改善工事名

1. 2階トイレ改修

② 補修改善箇所

1. 2階トイレ

③ 補修改善内容

- ア 大便器8基(和式)、小便器8基のうち大便器8基を洋式に取り替える。
- イ トイレブースの扉や土台部が腐食破損しているのでトイレブースを取り替える。
- ウ 便器の取り替えに伴い、壁と床のタイルを張り替える。
- エ 1階、2階手洗いシンクが老朽化しており取り替える。
- オ トイレ設置に伴う配管工事(給水、排水)
- カ 老朽化した給湯設備(給湯器)を取り替える。

④ 補修改善の目的及び必要性(具体的に記入する。)

- ア 現在の園児は和式のトイレを使用した経験がないため、一人でトイレに行けない園児もいて、職員がその都度付き添うなど、その時間帯の保育カリキュラムが中断したり、人手が割かれる状態にある。また、不慣れな和式のためトイレ待ちの時間も多くにある。自宅と同様に一人でも排泄に行ける環境に改善したい。
- イ トイレブースの扉や床のタイルも劣化しているので、劣化部分に起因する怪我などが起こらないように綺麗で明るいトイレに改修したい。
- ウ 給湯器の老朽化により手洗いの際の水温が安定していないため、冬季などは園児の手洗いが雑になる。衛生面からも適切な手洗い習慣をつけてもらいたいので、水温管理ができる給湯設備が必要。

⑤ 補修改善後に期待する効果・成果(具体的に記入する。)

- ア 園児の和式トイレに対するストレスを取り除けるとともに、トイレ待ちの時間も減ったり、職員の付き添いが必要なくなることで、付き添いによる中断もなく集中して園児と接することができる。
- イ トイレは一日数回行くところなので、排泄面に課題を抱える園児にもトイレへの抵抗を感じない綺麗で安全、衛生的な環境に整備できれば楽しい保育園生活となる。
- ウ 一年を通して適切な水温で手洗いできることで、正しい手洗いが励行され衛生面の向上が期待できる。

(8)補修改善の実施スケジュール

[illegible]

(9) 補修工事の内容

NO	補修工事の箇所	現在の状況			補修工事内容		
		現状	仕様	面積・数量	補修内容	仕様	面積・数量
1	便器取り替えに伴う タイル改修	老朽化、一部破損	磁器タイル100角	13.5㎡	タイル張替え	磁器タイル100角	3.69㎡
2	壁タイル改修	老朽化、一部破損	磁器タイル100角	4.70㎡	タイル張替え	磁器タイル100角	10.76㎡
3	トイレブース取替	土台部腐食	メラミン化粧合板	4箇所	土台取替	メラミン化粧合板	4箇所
4	1階2階便器取り 替えに	和式便器	幼児用和式便器	8基	便器取替	幼児用洋式便器	8基
5	1階、2階手洗いシ ンク取替工事	老朽化、一部破損	手洗いシンク	2箇所	手洗いシンク取 替	手洗いシンク	2箇所
6	給湯設備取替工事	老朽化	都市ガス式	1箇所	給湯器取替工事	都市ガス式	1箇所
7							
8							
9							
10							

(10)収支予算書

【収入の部】

(単位:円)

科目	予算額	備考
助成金	3,540,000	
自己負担金	1,775,739	内訳は4.(3)参照
計	5,315,739	

【支出の部】

(単位:円)

科目	予算額	
工事費	4,765,739	経費明細・見積書参照
設計管理費	550,000	
計	5,315,739	

(11)経費明細

(単位:円)

No	科目	内容	数量 (単位)	単価 (税抜)	助成対象 経費(税抜)	事業費総額 (税込み)
1	修繕費	トイレ便器取り替え	一式	1,560,000円	1,560,000円	1,716,000
2	修繕費	トイレタイル取替	一式	600,000円	600,000円	660,000
3	修繕費	手洗いシンク取替	一式	472,490円	472,490円	519,739
4	修繕費	園庭手洗い場新設工事	一式	685,900円		
5	修繕費	給湯設備取替	一式	1,700,000円	1,700,000円	1,870,000
6	委託費	設計管理費	一式	500,000円	500,000円	550,000
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
				計	4,832,490	5,315,739

申請対象補修改善工事に併せて助成対象外の工事も実施する場合であって、提出する見積書にその工事見積額等が記載されている場合は、それが対象外工事であるとわかるようにこの欄へ記載してください。

工事名称:設計監理者事務所名:●●設計事務所
●室空調設備更改・●室照明設備更改工事・▲館棟照明機器更改工事

	名称	単位	採用単価	摘要/掛率	参考見積提出業者名		
					●●電気㈱ カタログ定価	▲▲電気㈱ カタログ定価	
1	エアコン PLZ-XXXXXXX	台	592,200	0.45	1,316,000	1,400,000	
2	照明器具 B XLXXXX	台	17,435	0.55	35,000	31,700	
3	C1 XLWXX	台	23,155	0.55	50,000	42,100	
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							

(名称は、該当する改修工事の内容に合わせて適宜記入すること。)
(採用根拠とした業者名もしくは各単価の金額に色を付けること。)

工事予定金額の作成根拠

作成年月日:令和●年●月●日

工事名称:
●室空調設備更改・●室照明設備更改工事・▲館棟照明機器更改工事

設計監理者事務所名:●●設計事務所

	工事名称	予算金額	摘要/掛率	見積徴収(参考金額)					
				総合請負業者名			専門業者名		
							(株)●●社	(株)▲▲社	■電業(株)
1	●室棟空調設備更改工事	3,733,000	0.972				3,839,000	4,013,000	4,080,000
2	●室棟照明機器更改工事	1,580,000	0.988				1,600,000	1,617,000	1,649,000
3	▲館棟照明機器更改工事	6,377,000	0.982				6,493,000	6,775,000	6,846,000
4	諸経費	1,089,000	0.912				1,194,000	1,241,000	1,266,000
5	計	12,779,000	0.974				13,126,000	13,646,000	13,841,000
6	消費税	1,277,900	0.974				1,312,600	1,364,600	1,384,100
7	総額	14,056,900	0.974				14,438,600	15,010,600	15,225,100
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16	電気設備工事								
17	空調設備工事								
18	給排水衛生設備工事								
19	その他								
20									
21	現場管理費								
22	一般経費								
	計								
	消費税								
	総額								

(工事名称は、該当する改修工事の内容に合わせて適宜修正すること。)

(採用根拠とした業者名もしくは各工事の金額に色を付けること。)

数量の計算根拠

作成年月日:令和●年●月●日

工事名称:●室空調設備更改・●室照明設備更改工事・▲館棟照明機器更改工事

建築士事務所名:●●設計事務所

	工種	仕様	計算根拠	数量	単位	備考
1	エアコン	PLZ-XXXXXXX	既設機器の更改	3	台	
2	照明器具 B	XLXXXX	〃	10	台	
3	C1	XLWXX	〃	10	台	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						

(名称は、該当する改修工事の内容に合わせて適宜記入すること。)

(採用根拠とした業者名もしくは各単価の金額に色を付けること。)

建築基準法及び建築物省エネ法の改正に関する 建築確認手続等の設計監理者届出書

本申請における建築基準法及び建築物省エネ法の改正(2025年4月施行)による建築確認手続等の該当の要否について、下記のとおり届出ます。

記

当該手続の要否は、○をつけた番号のとおりです。

1. 本申請の工事は建築基準法の建築確認手続等が必要である。

建築確認手続及び省エネ基準適合義務制度に必要な手続の完了状況は下表のとおりです。

書類名	該当状況に○をつけてください	
本申請工事に係る建築確認申請書	<input checked="" type="radio"/> 提出済	<input type="radio"/> 未提出
(同) 建築確認済証	<input checked="" type="radio"/> 交付済	<input type="radio"/> 未交付
省エネ適合判定の申請書	<input checked="" type="radio"/> 提出済	<input type="radio"/> 未提出
(同) 判定通知書	<input checked="" type="radio"/> 交付済	<input type="radio"/> 未交付

上記表の完了した書類の写しを申請書類として添付します。

2. 本申請の工事は建築基準法の建築確認手続等が不要である。

令和 ○年 ○月 ○日

設計監理者事務所の名称: 武蔵野建築設計事務所

住 所 : 武蔵野市武蔵野町1-2-3

設計監理者氏名: 建築設男

印

※申請書4. 実施計画(2) 補修改善工事の設計監理の欄の者と一致していること。